

## 平成29年度

### 花さきデイサービス事業計画書

#### <事業の種類>

介護保険法による通所介護事業

介護保険法による介護予防通所介護事業（合計定員20名）

#### <運営方針>

在宅の要支援者・要介護者に対して、可能な限り慣れ親しんだ地域で生き生きと生活できるように支援する。

また利用者・家族の意見に耳を傾け「個」を大切にし、自立・自己実現を目指す。

地域福祉の充実を図る為に地域包括支援センターを中心に、他事業所とも連携を図る。

#### <事業計画>

利用者の個別ニーズに対応した処遇を行うことにより、自立に向けた支援を行う。

- ①入浴 ー 入浴により筋肉や関節の緊張を和らげ、気分のリラックスにつなげる。また入浴することで清潔の保持や爽快感を得る。
- ②排泄 ー 排泄に障害を持っておられる方に対して安心安全な介助を提供しトイレでの排泄を目指す。
- ③食事 ー 利用者・職員が共同でおやつの献立を考えるなど、食への関心を持つ。年1回嗜好調査を実施し献立に反映する。
- ④リハビリ ー 日常生活に必要な生活機能を維持するために個々の状態に合わせたプログラムを作成し、在宅生活の継続につなげると共に、家族の介護負担を軽減する。
- ⑤レクリエーション ー 個人活動、集団活動を実施することにより、デイサービス利用の動機付けを行い社会参加への援助を行う。

#### <年間行事>

- |             |                     |
|-------------|---------------------|
| 4月・・・花見     | 10月・・・秋祭り・運動会       |
| 5月・・・鯉のぼり見学 | 11月・・・紅葉ドライブ・小学生交流会 |
| 6月・・・外食ツアー  | 12月・・・クリスマス会、忘年会    |
| 7月・・・七夕     | 1月・・・初詣、新年会         |
| 8月・・・すいか割   | 2月・・・節分、観梅          |
| 9月・・・敬老会    | 3月・・・菜の花外出          |

<日課>

時 間	項 目	内 容
8 : 0 0	迎え出発	
9 : 0 0	健康チェック	到着後手洗い、うがい、体温・脈拍・血圧の測定
9 : 1 5	入 浴	個浴・普通浴・椅子浴の提供
	学習療法等	計算問題・漢字問題などの提供
	個別機能訓練	希望される利用者の状態にあわせ、日常生活に必要な機能訓練の実施
1 1 : 4 0	口のリハビリ	口腔マッサージや早口言葉等の実施
1 1 : 5 5	新聞読み	地域の新聞の 1 面など利用者さんの関心のある記事の紹介。
1 2 : 0 0	昼 食	季節感のある食事の提供
1 3 : 0 0	自由時間 個別レク	休息や手作業・作品づくりなど個々の時間
1 4 : 0 0	レクリエーション	集団ゲーム・歌体操等・季節行事などの実施
1 4 : 4 5	機能訓練	①歩行練習・起立訓練の実施 ②各個人にあった手作業などの実施
1 5 : 0 0	ティータイム	コーヒー、紅茶等の提供
1 5 : 3 0	帰りの準備	利用者の帰り支度の手伝い、連絡事項の伝達
1 6 : 0 0	健康体操	歌と体操を組み合わせた体操を実施し、転倒予防を図る。
1 6 : 1 5	送り出発	

<年間目標>

利用人員

通所介護・予防通所介護 平均利用人員 18 人/日  
(平成 28 年 1 2 月現在 平均利用人員 16.6 人/日)

目標設定の根拠

どの曜日でも登録人数が 18 人から 20 人であり、ショートステイ等による欠席が平均して 1 割程度ある為その分を差し引いて稼働率を 90% とした。

<目標達成の為の具体策>

利用者満足度の向上

- ・立地条件を活かし喫茶外出等の社会参加の機会をつくる
- ⇒社会参加することで、孤立感の解消と心身のリフレッシュを行い満足度の向上につなげる

介護支援専門員・地域との連携

- ・月 2 回居宅介護支援事業所を訪問し、顔の見える関係作りを継続する。
- ・ボランティアを積極的に受け入れ地域とのつながりを大切にする
- ⇒地域の方々を招き入れることで広く地域に情報を発信する

職員の資質向上

- ・在宅生活の継続の支援のために、利用者・家族・職員間の情報の共有を行う。
- ⇒気づきを記録に残し家族・職員間の情報の共有に活用する